



2019年11月期 第2四半期

決算説明資料

2019年6月28日



- 当社は、2019年6月1日にスター・マイカ株式会社との株式交換により持株会社体制に移行し、東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。
- 本決算説明資料において開示している2019年11月期第2四半期決算に関する財務情報は、特段の注記がない限り、持株会社体制移行前のスター・マイカ株式会社のものとなります。

1. 財務情報
2. 事業計画
3. 事業内容
4. コミットメント (ESG)
5. 株主還元
6. 会社概要

主力のリノベマンション事業に経営資源を集中

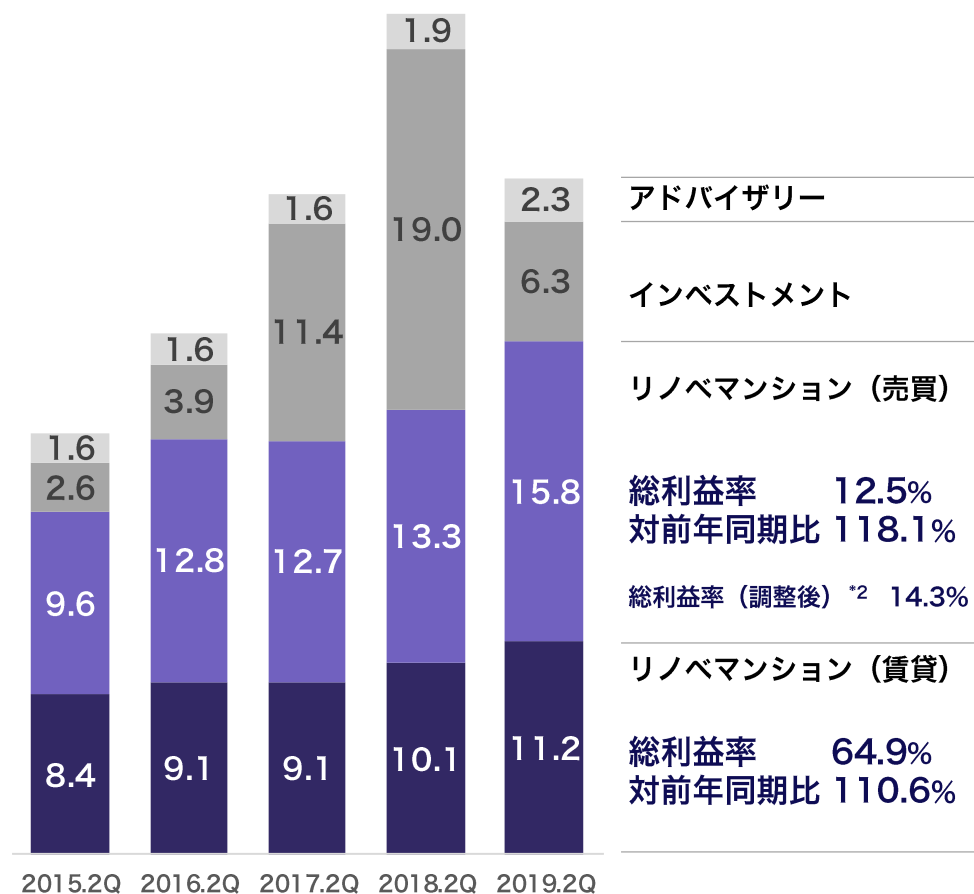
連結PL (主要項目)

- インベストメント事業における物件売却の反動減の影響を受け、前年同期比で減収減益

	2018/11期2Q (億円)	2019/11期2Q (億円)	前年同期比
売上高	175.5	173.5	98.9%
リノベマンション事業	104.2	144.0	138.2%
インベストメント事業	68.0	24.1	35.5%
アドバイザー事業	3.2	5.3	165.5%
売上総利益	44.4	35.5	79.9%
リノベマンション事業	23.4	26.8	114.4%
インベストメント事業	19.0	6.3	33.1%
アドバイザー事業	1.9	2.3	122.5%
販売費・一般管理費	14.6	14.5	99.6%
営業利益	29.8	20.9	70.3%
経常利益	26.7	17.3	65.1%
当期純利益	18.1	12.0	66.2%

セグメント別売上総利益推移^{*1}

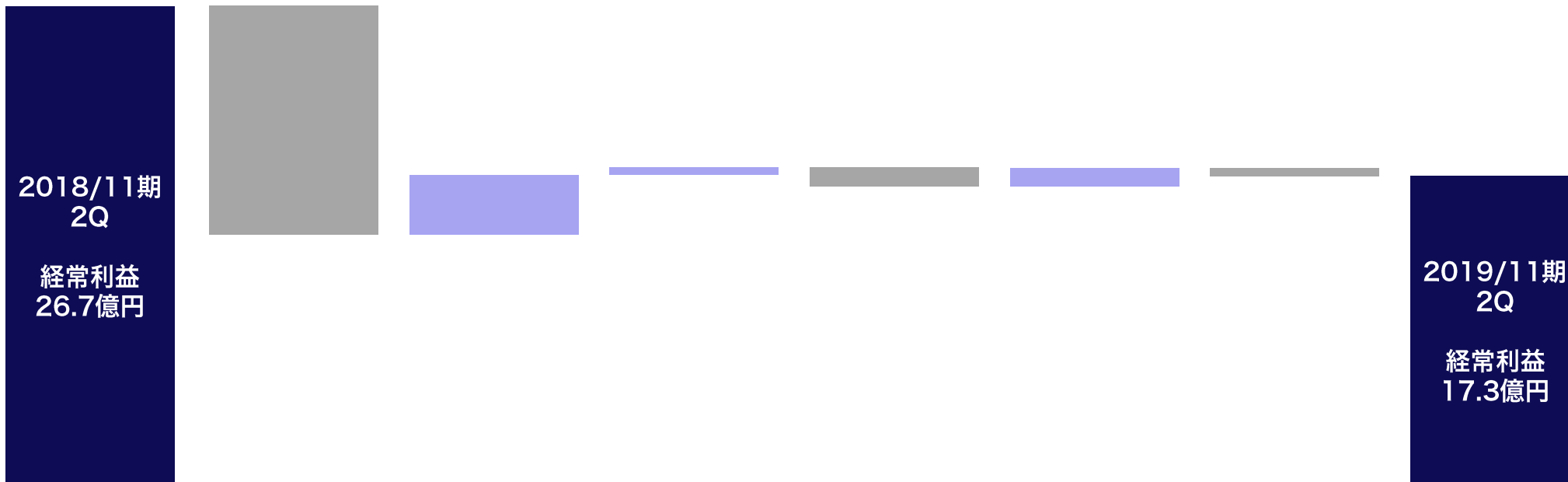
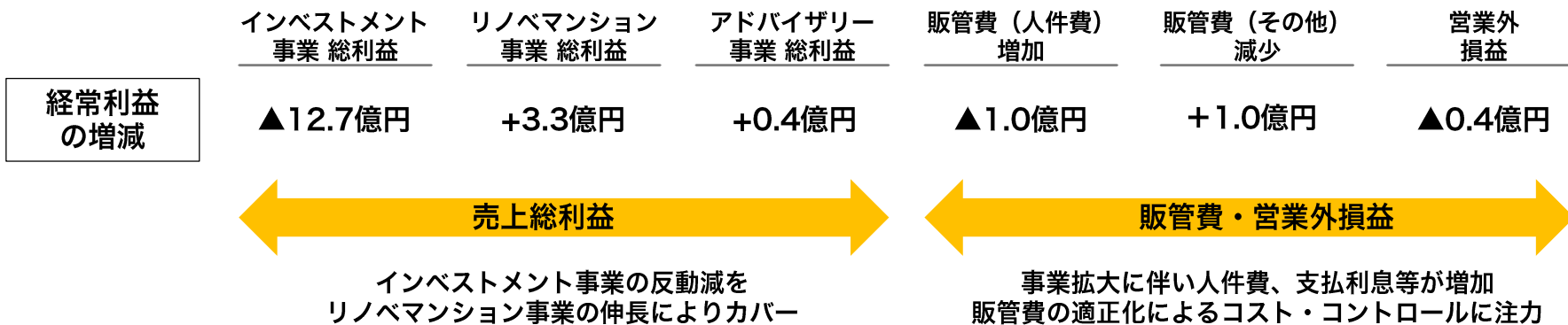
- リノベマンション事業は、保有物件積上げ/物件供給量増加により、賃貸・売買ともに増益



^{*1} 各事業の評価損は表示しておりません

^{*2} 売却時の仲介手数料を売上原価から控除した場合の総利益率となります

リノベマンション事業が経常利益を押し上げ



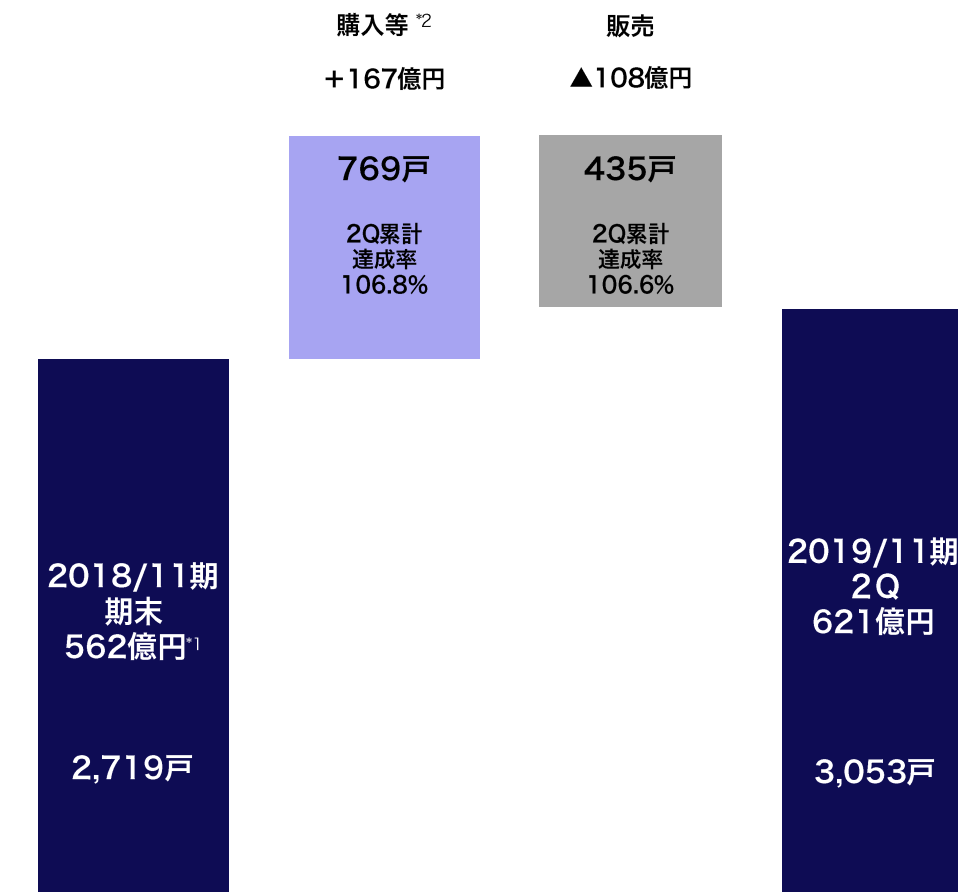
- 物件供給を上回る物件仕入を継続、販売用不動産を着実に積上げ

連結BS (主要項目)

- 3月に仙台営業所を支店化、地方主要都市での仕入体制を強化
- インベストメント事業の物件売却は、予定どおり上期で完了

	2018/11期 (億円) ^{*1}	2019/11期2Q (億円)	前期末比
流動資産	610	674	110.5%
うち現金及び預金	40	42	103.4%
うち販売用不動産	562	621	110.5%
固定資産	25	8	35.1%
うち有形固定資産	17	0	3.1%
総資産	635	683	107.5%
流動負債	80	93	116.7%
固定負債	383	409	106.7%
自己資本	170	179	105.1%
自己資本比率	26.9%	26.3%	

販売用不動産増減



^{*1} 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等に伴い、2018/11期の数値を遡って修正

^{*2} リノベーション等に伴う簿価増加分も含む

リノベマンション事業が好調。経常利益は予算を大きく超過

	2019/11期 2Q予算 (億円)	2019/11期 2Q実績 (億円)	達成率
売上高	171.1	173.5	101.4%
うちリノベマンション事業	140.9	144.0	102.2%
うちインベストメント事業	26.4	24.1	91.3%
うちアドバイザー事業	3.7	5.3	141.3%
売上総利益	35.7	35.5	99.4%
うちリノベマンション事業	25.5	26.8	105.2%
うちインベストメント事業	8.3	6.3	75.2%
うちアドバイザー事業	1.8	2.3	129.0%
営業利益	18.7	20.9	111.9%
経常利益	15.5	17.3	111.8%
当期純利益	10.7	12.0	112.4%

- 経常利益の通期予算に対する進捗率は約75%

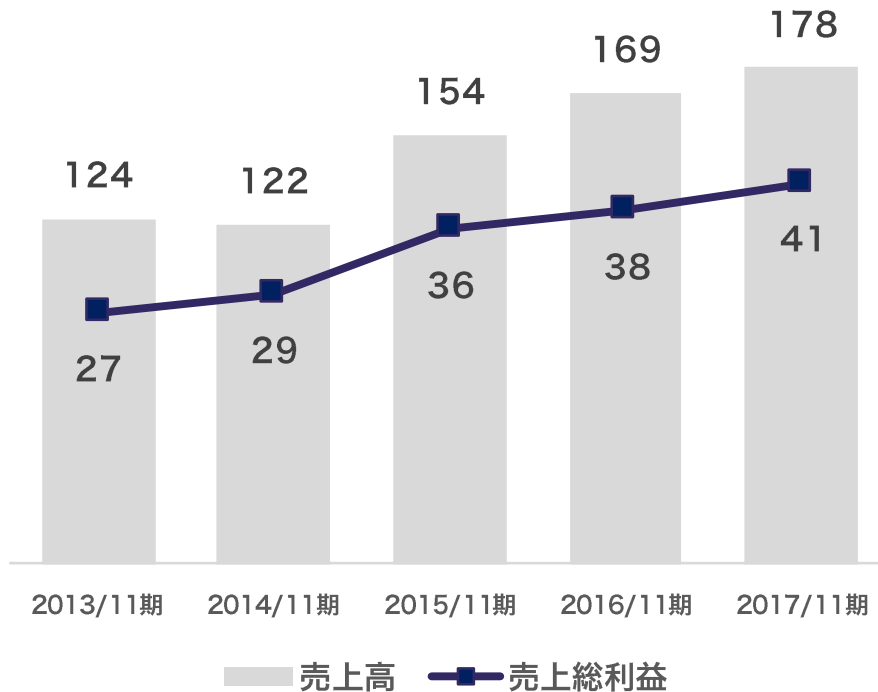
	2019/11期 通期予算 (億円)	2019/11期 2Q実績 (億円)	進捗率
売上高	334.0	173.5	52.0%
うちリノベマンション事業	300.0	144.0	48.0%
うちインベストメント事業	26.4	24.1	91.3%
うちアドバイザー事業	7.5	5.3	70.7%
売上総利益	65.3	35.5	54.4%
うちリノベマンション事業	52.8	26.8	50.8%
うちインベストメント事業	8.3	6.3	75.2%
うちアドバイザー事業	4.1	2.3	58.0%
営業利益	29.5	20.9	70.9%
経常利益	23.0	17.3	75.3%
当期純利益	15.8	12.0	76.0%

1. 財務情報
- 2. 事業計画**
3. 事業内容
4. コミットメント (ESG)
5. 株主還元
6. 会社概要

- 買い手が少ないファミリータイプの「オーナーチェンジ物件^{*1}」を積極的に購入
- 競争戦略が奏功し、事業が大きく成長。収益性の高い企業としての地位を確立

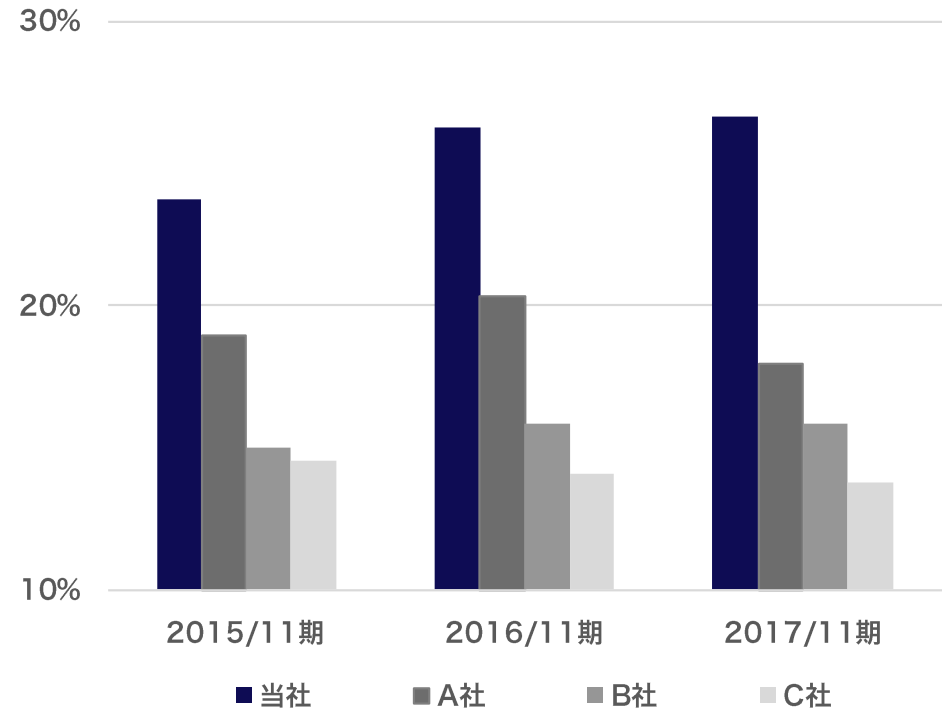
売上高・利益とも堅調に成長

<リノベマンション事業の推移（億円）>



業界内で圧倒的に高い利益率

<売上総利益率の比較（%）>



^{*1} 購入時に賃借人が居住中である区分マンション

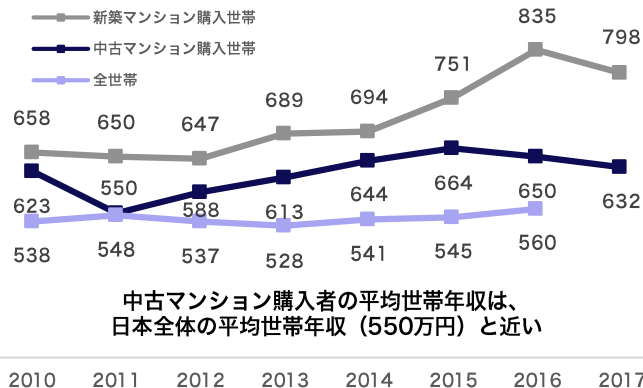
(出所) 上場企業各社、2017/11月末時点における最新の通期決算開示資料を元に当社作成

- 新築価格高騰や住宅ローン低金利が、リノベーションマンションの需要を押し上げ
- オリンピック後の不透明な不動産市況の中でも、底堅い需要が見込まれるものと予想

中古マンション
購入層は一般的
なサラリーマン
世帯



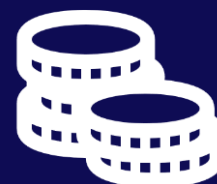
<平均世帯年収推移 (万円) >



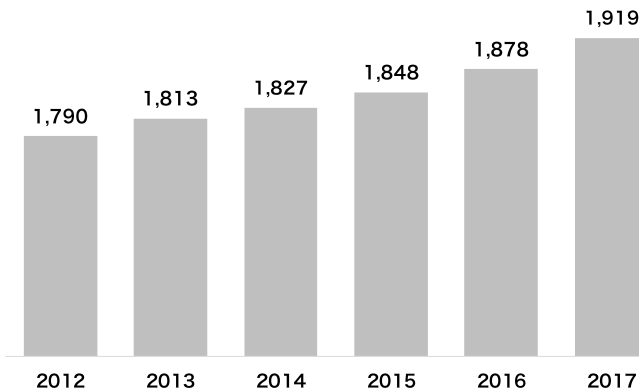
中古マンション購入者の平均世帯年収は、
日本全体の平均世帯年収 (550万円) と近い

(出所) 国土交通省「住宅市場動向調査」および厚生労働省「国民生活基礎調査」より当社作成

低金利を背景に
住宅ローン
残高増加



<住宅ローン残高推移 (千億円) >

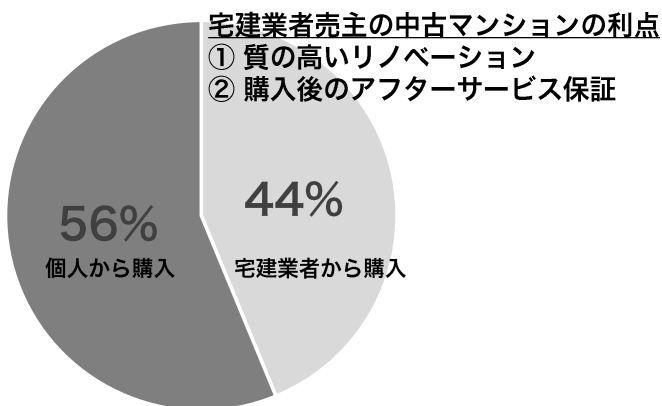


(出所) (公財) 不動産流通推進センター「不動産業統計集」より当社作成

宅建業者売主の
中古マンション
(≒リノベーションマンション)
市場シェア増加



<中古マンション購入者の取引相手 >

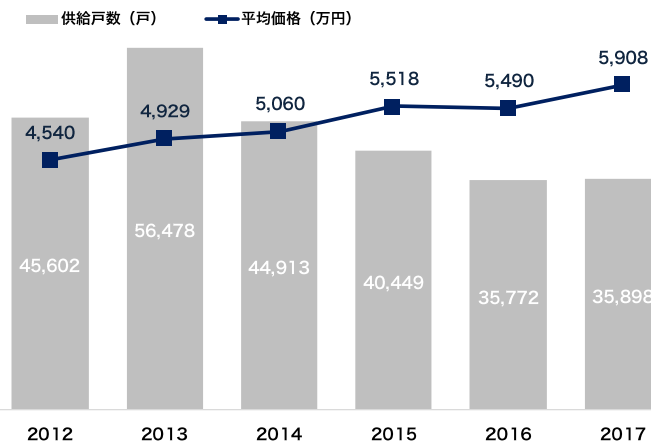


(出所) 国土交通省「住宅市場動向調査」より当社作成 (仲介業者を通じた販売のみを集計)

新築価格の
供給戸数減、
価格高騰



<新築マンション市場動向 (首都圏) >



(出所) (株) 不動産経済研究所「首都圏マンション市場動向」より当社作成

- 好調な事業環境を踏まえ、2018/11期を起点とした「Challenge2022」を策定

リノベーションで
日本の住宅を変える

×

イノベーションで
不動産業界を変える

スター・マイカの挑戦 1

物件保有・供給ともに、
圧倒的な存在感を発揮

スター・マイカの挑戦 2

「リノベ済マンション」
「中古を買って自分でリノベ」
を住宅購入の選択肢に

スター・マイカの挑戦 3

ITを活用した
新規事業への積極投資

スター・マイカの挑戦 4

あらゆる業務の効率化により、
1人あたり生産性を向上

“リノベーション総合企業”
への進化

不動産×ITで、新たな
収益機会・社会的価値創出

- 2017/11期～2022/11期にかけて、売上・利益の「倍増」を目指す

2017/11期
実績2018/11期
実績2022/11期
計画

売上高

230億円

302億円

500億円

営業利益

35億円

38億円

70億円

販売用不動産残高
(リノベマンション事業)

444億円

562億円

1,000億円

- 計画2年目は、5カ年経営計画達成へ向けた「足場固め」を行う1年

通期
テーマ

- リノベマンション事業へ経営資源を集中、供給量No.1達成へ向けて販売戸数を大幅に増加
- 第2、第3の「収益の柱」構築へ向けた、持株会社体制へのスムーズな移行

目標

達成状況

□ インベストメント事業における1棟収益物件の売却完了

■ 不透明な収益不動産市況の中、想定スケジュール内での売却を達成

□ 営業エリアの拡大

■ 3/1付で仙台営業所の支店化を実現

□ 持株会社体制への移行実現

■ 6/1付で持株会社体制への移行完了

□ 更なる体制強化へ向けた人材採用・育成

□ 供給戸数増加に伴う販売体制の整備

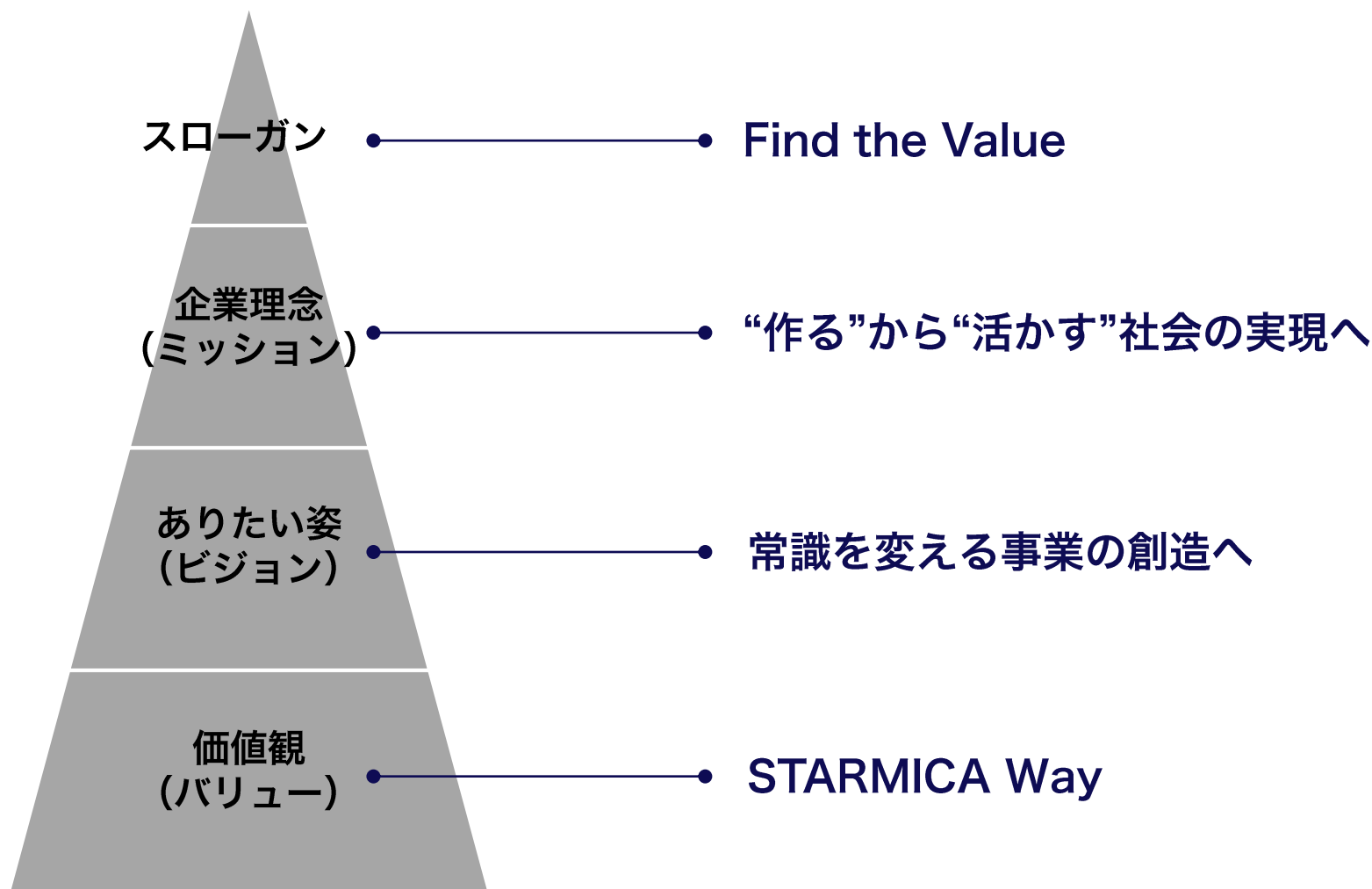
□ エンドユーザーに対するマーケティング強化

上期

下期

1. 財務情報
2. 事業計画
- 3. 事業内容**
4. コミットメント (ESG)
5. 株主還元
6. 会社概要

- 革新的な事業創造により、業界を牽引する存在を目指す



コア事業の安定的な成長に加え、ノンコア事業で新たな収益機会を模索

STAR MICA HOLDINGS
Find the Value

グループ全体の事業戦略策定
グループ経営管理

STAR MICA STARMICA

リノベマンション
売買

STAR MICA STARMICA
Residence

リノベマンション
売買仲介

STAR MICA STARMICA
Property

不動産賃貸管理

STAR MICA STARMICA
Asset Partners

不動産投資
コンサルティング

STAR MICA STARMICA
Asset Management

富裕層向け
投資助言業

Smaii+

不動産運用
マネジメント

コア事業

実需向け
区分マンション

購入→保有→販売の
バランスシート型ビジネス

ノンコア事業

富裕層・投資家向け
区分・一棟マンション

手数料中心
ノンアセット/フィー型ビジネス

- 社会に価値を生み出すバリューチェーン

購入

- 買い手の少ないファミリータイプのオーナーチェンジ物件をメインで取得
- 一般的に流通しにくい物件の売買市場を創出
不動産の流動性向上に貢献

保有

- 賃借人の自然退去まで物件を保有
- 当社グループでの賃貸管理により、
賃借人の快適な暮らしをサポート

- 良質なりノベーションマンションを
全国主要都市で供給
- 多様化する消費者のニーズに応えた
商品設計

販売

リノベーション

- 古くなった物件を短期間で高品質な
住まいへバリューアップ
- 「まだ使えるものを残す」
環境にも十分配慮した施工

堅実かつ積極的な物件購入を実現する仕組み

< 月間の購入取引フロー（イメージ） >

情報入手
3,000戸

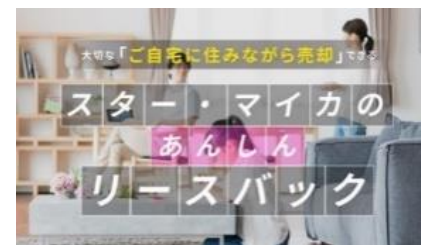
POINT①：仲介会社との強固な関係性



業界のパイオニアとして、
約20年にわたり仲介会社
と深いリレーションを構築

POINT②：購入チャネルの多様化

リースバック要請にも柔軟に対応
WEB経由の所有者からの直接買取も実施



物件精査

POINT③：厳格な物件購入プロセス

耐震性、補強工事の有無、マンション
共用部の管理状況など購入者目線から精査

購入検討

POINT④：豊富な購入実績と
自社データベースによる独自の物件査定手法

累計購入戸数
10,000戸

約**3%**

購入
100戸

POINT⑤：数十戸単位の物件でも、
まとめて早期に決済可能な資金力

キャッシュポジション
常時30～50億円

*1（公財）不動産流通推進センター「不動産業統計集」に掲載された仲介会社および当社東京・神奈川エリア取引実績をもとに作成

- 「日本一」の物件ストックが、賃貸・販売のハイブリット収益を生み出す

保有物件

3,000戸超

販売中/販売準備物件

- 借借人退去後に
リノベーションを行い販売

賃貸中物件

- 借借人退去まで賃料収入を収受
- 景気に左右されない安定的な
収益源

売上総利益構成比

売買総利益
(フロー収益)
約55%

賃貸総利益
(ストック収益)
約45%

リノベ
マンション事業
売上総利益

52.8億円

(2019/11期予算)

- 品質を保ちながら、大規模な量の施工を低価格・短期間で行う

暮らしやすさを追求したプランニング

- 女性の使いやすさをテーマに、忙しい主婦や共働きの世帯をイメージして、水回りのコンパクトな家事動線や開放的なキッチンなどをきめ細やかにプランニング



消費者の嗜好に合わせて、多彩な「住まいのカタチ」を提案

コンセプト型商品



住宅設備・インテリア企業等との協業

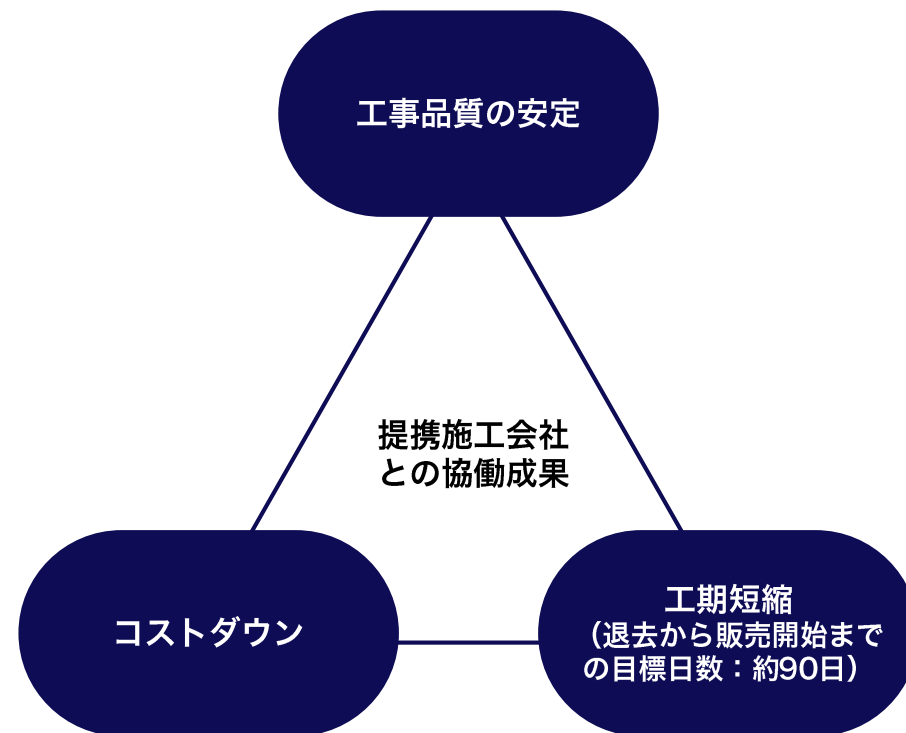
R じぶんReno



セルフリノベーションサービスの提供

品質・コスト・工期を最適化する 施工会社との強固なネットワーク

- 全国主要都市にて多くの施工会社と提携
- 供給戸数増加とプロセス標準化を推進



手頃な価格で良質なりノベーションマンションを供給

月々の負担は変わらず、賃貸よりグレードの高い
“分譲”マンションでの生活を実現

標準的な家賃*1

13.3万円



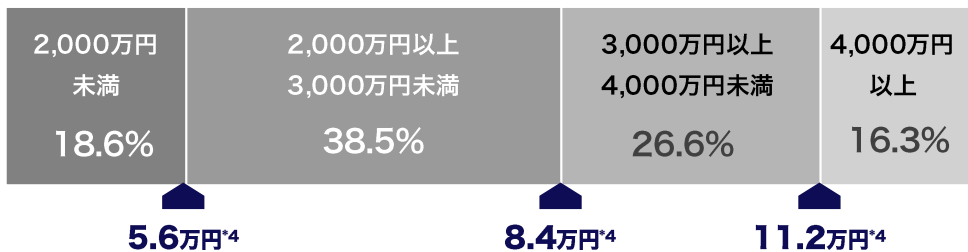
月々のローン返済額*2

8.4万円



*1 当社2018/11期販売実績（平均販売価格3,071万円、平均面積67.47㎡）に基づく
*2 平均販売価格の物件を、借入金額3,000万円、元利均等、35年返済、金利1.000%で購入した場合

<当社供給物件の価格帯*3>

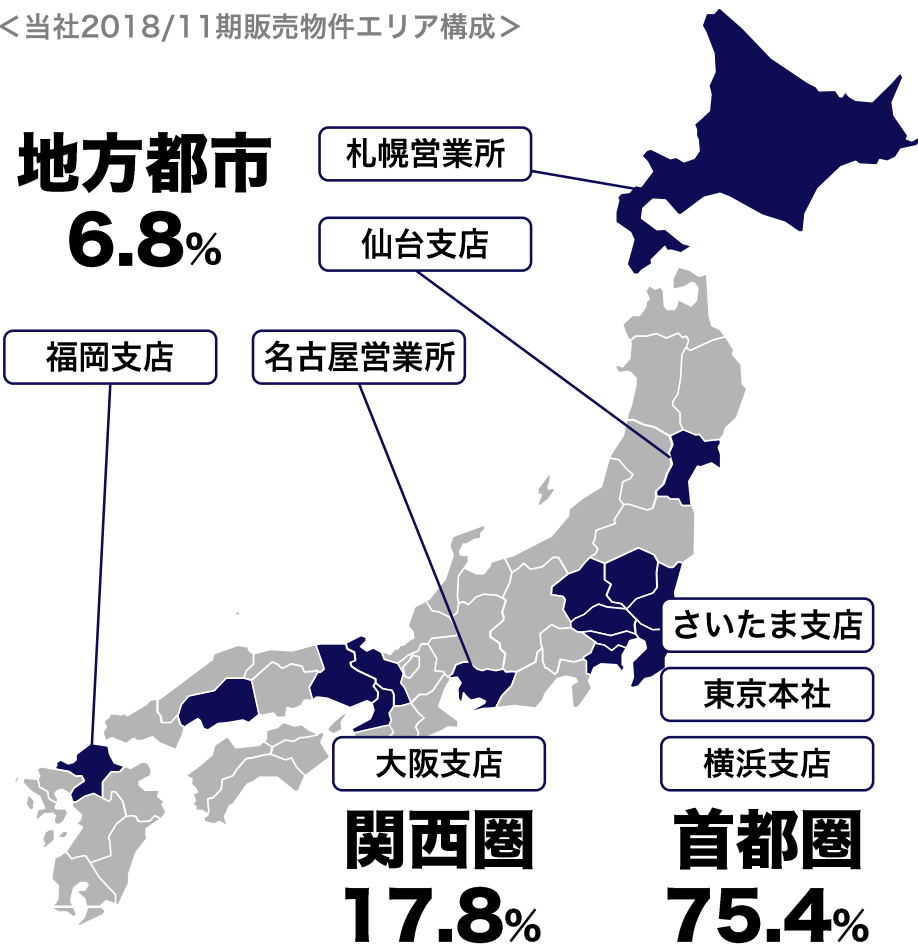


*3 当社2018/11期販売価格に基づく（戸数ベース）

*4 2000万円/3000万円/4000万円の物件を、全額借入、元利均等、35年返済、金利1.000%で購入した場合の月々のローン返済額

首都圏を軸に、地方主要都市でも物件を供給

<当社2018/11期販売物件エリア構成>



- グループ3社による富裕層/投資家向けビジネスを展開
- 金融出身者を多数を有する強みを生かし、独自のポジショニングで市場創造を目指す

投資助言/
プライベートバンキング

STAR
MICA
STARMICA
Asset Management

金融資産に加え、不動産運用を含めた
アドバイザーサービス

富裕層

アセットマネジメント要素を
加味した賃貸管理

Smaйт

リノベーションによるバリューアップ、短期賃貸に
よるリーシング、予実管理機能等、従来のPM会社には
ないサービスを提供

士業・
外資金融系など
ハイサラリー層

不動産投資コンサルティング

STAR
MICA
STARMICA
Asset Partners

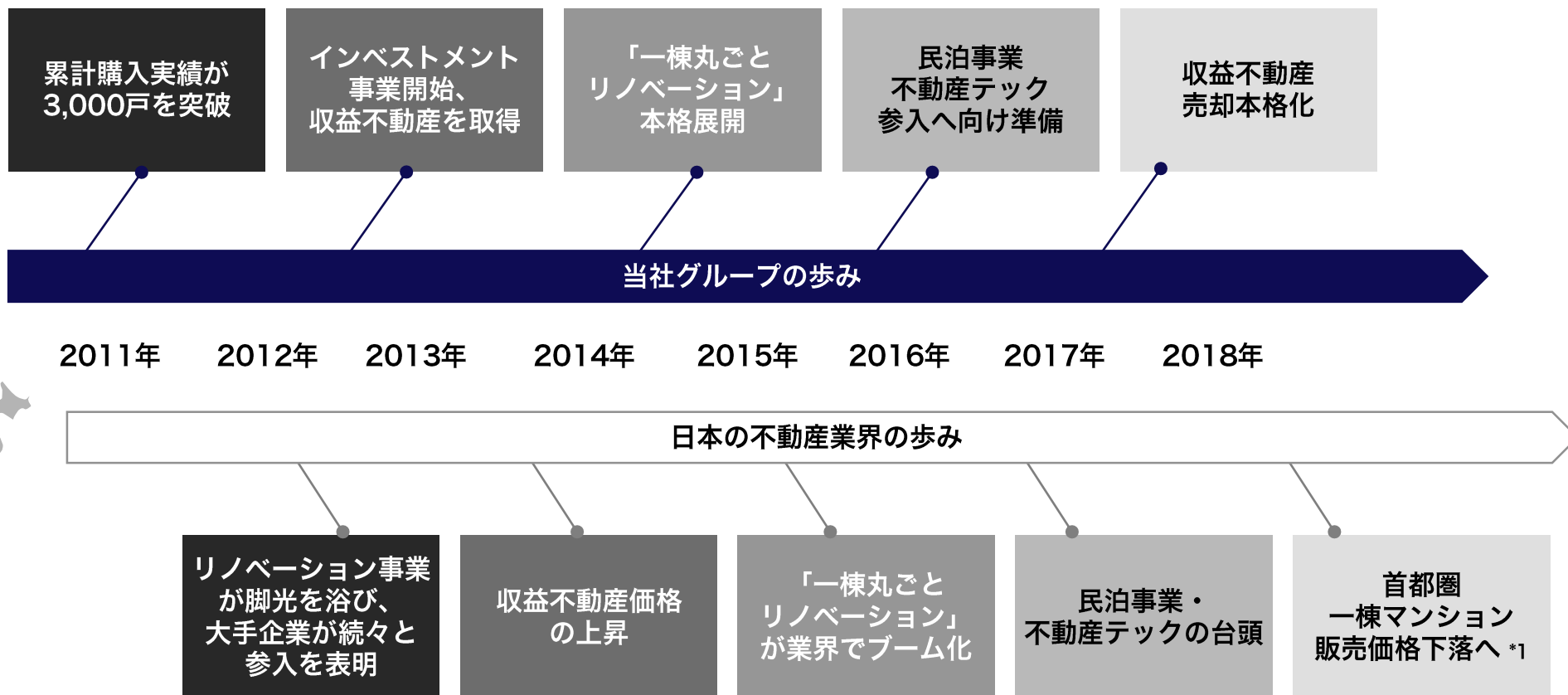
顧客の投資ニーズに合わせた
「オーダーメイド型」不動産投資

サラリーマン
投資家

自社で開発・新築分譲した
投資用不動産商品の販売

N/A

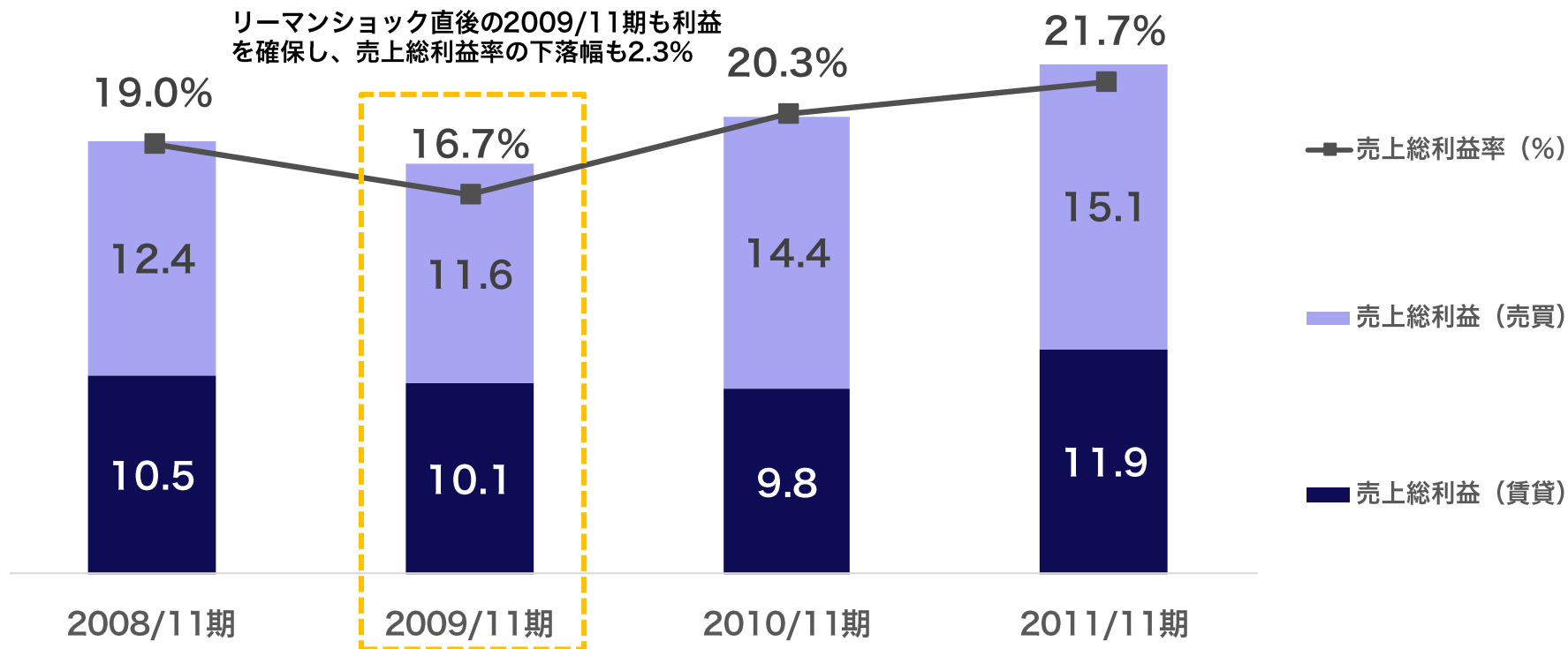
マーケットの流れを読み、先駆的な事業展開で業界をリード



*1 「不動産投資と収益物件の情報サイト健美家」収益物件 市場動向 直近の四半期レポートより

リーマンショックの逆風を乗り越えた、強固なビジネスモデル

<リノベマンション事業の利益推移（億円、％）>



不況にも負けない3つの強み

安定的なストック
(賃貸) 収益

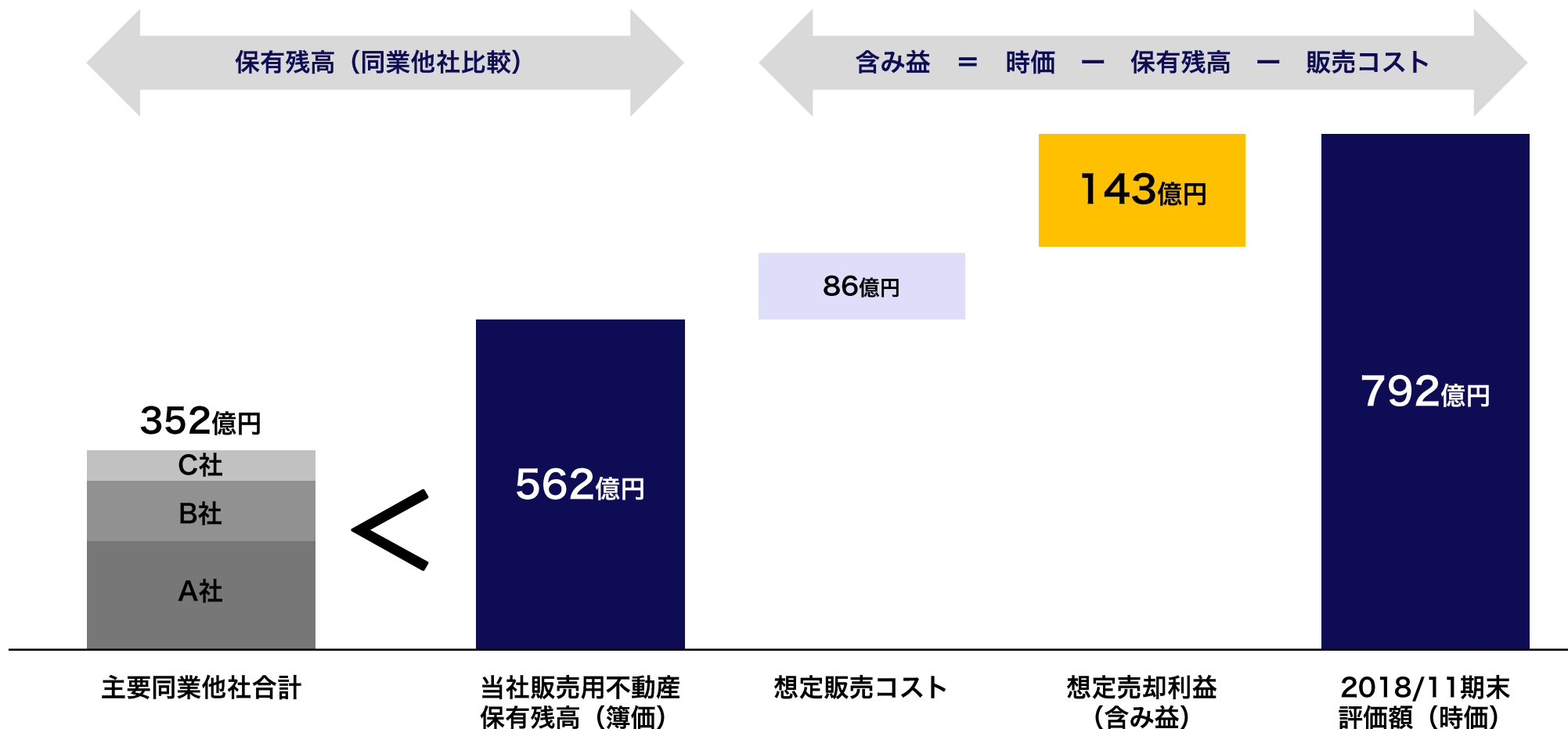
景気の変動を受けにくい
価格帯の物件を販売

盤石な資金調達
(ファイナンス) 体制

- 保有戸数は業界圧倒的No.1、厳選した仕入で143億円の含み益

保有残高（同業他社比較）

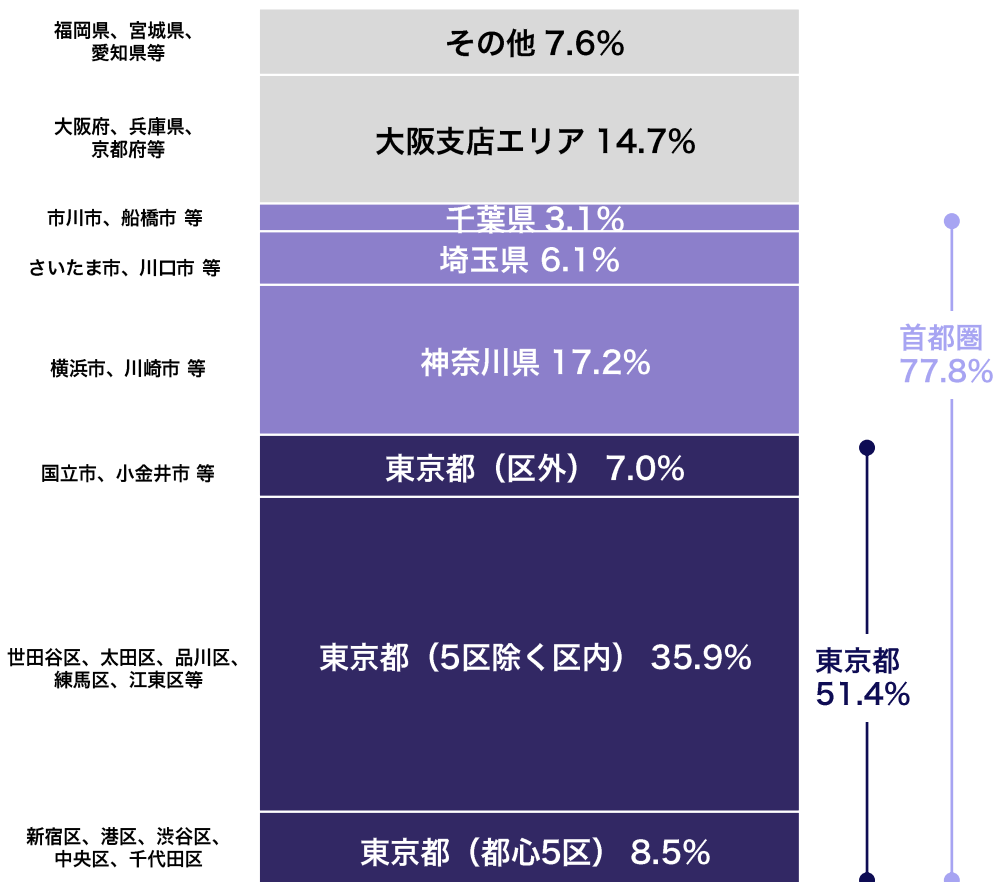
含み益 = 時価 - 保有残高 - 販売コスト



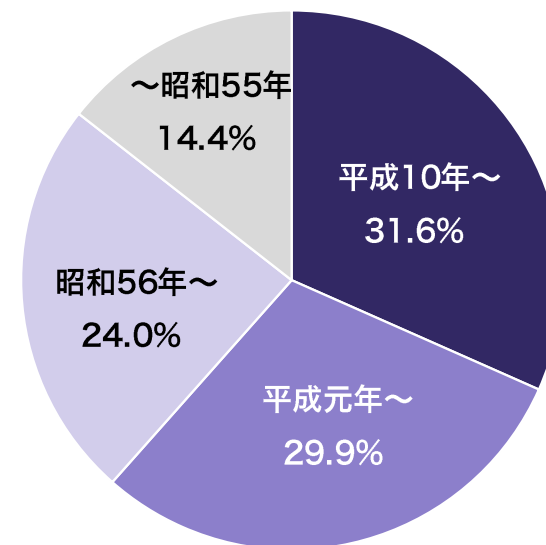
(出所) 保有残高については、上場企業各社、2018年11月末時点における最新決算情報より当社作成

1戸単位での積上げにより、十分に分散されたポートフォリオ

地域別残高構成*1



築年時期別残高構成*2



平均専有面積*3

65.84 m²

平均築年数*3

27.9 年

平均購入価格*3

19,902 千円

*2 築年時期別残高構成は、2018/11期末時点の購入価格比による

*3 平均専有面積・平均築年数・平均購入価格は2018/11期購入実績ベース

*1 地域別残高構成は2018/11期末時点の購入価格比による

社会的に高く評価される当社グループのビジネス

グローバルに認められたビジネスモデル

ビジネスモデルや社会貢献性が評価され、2011年に当時の不動産業界で初となる「ポーター賞」を受賞



ポーター賞の審査基準

製品やプロセス、マネジメント手法におけるイノベーションを起こすことによって独自性のある価値を提供し、その業界におけるユニークな方法で競争することを意図的に選択した企業・事業であること

第一次審査・審査基準

優れた収益性、他社とは異なる独自性のある価値の提供、戦略の一貫性、戦略を支えるイノベーションの存在

第二次審査・審査基準

資本の効率的な利用、独自のバリューチェーン、トレードオフ、活動間のフィット

社会貢献活動①：「次世代起業家育成」へ向けた取組み

学術分野（アカデミア）への貢献

- 京都大学・学習院大学において起業に関する講座を担当
- 国内外MBAプログラムへのゲスト講師派遣
- 国内外の大学生のインターン受入

社会貢献活動②：事業展開で得た「知」の還元*1



*1 当社グループメンバーによる書籍出版

1. 財務情報
2. 事業計画
3. 事業内容
- 4. コミットメント (ESG)**
5. 株主還元
6. 会社概要

透明性の高いガバナンスや労働環境への配慮により、高品質の物件を供給する仕組み

グループの価値観を浸透 させる仕組み

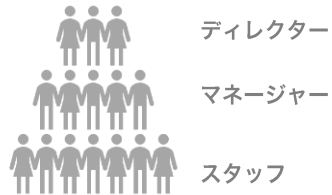
全社員の行動規範
「スター・マイカ・ウェイ」を制定
四半期毎のタウン・ミーティングで
経営戦略を共有

<STAR MICA Wayの一例>

- コミュニケーションは
オープン&フラット
- 目指すはワークスマート
- スピードで驚かせよう
- カッコいい会社でいよう
-

チームワークを育む 企業文化

社員の階層は3つのみ
豊富な部門横断プロジェクト
360評価システムの導入



高いコンプライアンス 意識

創業以来「不正ゼロ」

× 個人ノルマ

× 過度な成果報酬

強固な内部統制

社外取締役比率（当社）：75%

ITを活用した スマートワークの実現

クラウド化、モバイル活用による
リモートワーク推進
↓
1人あたり生産性向上

平均残業時間
16.0h

女性が活躍できる 職場環境作り

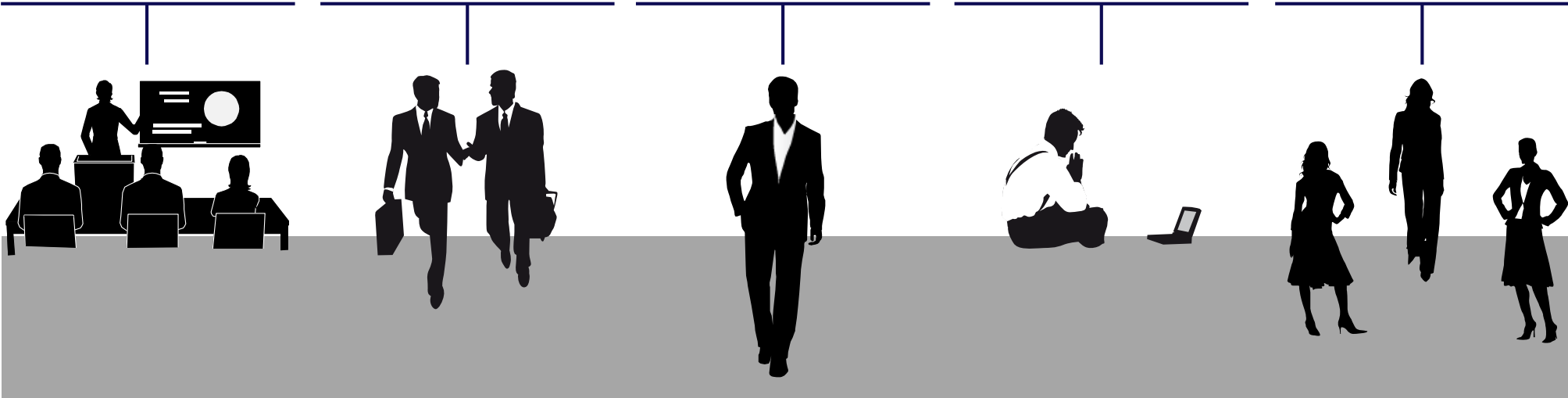
女性目線の商品開発ラボの設立

女性の“ウレシイ”をかたちに。

しあわせリノベ 研究所

社員に占める女性比率：40%

産休・育休取得率：100%



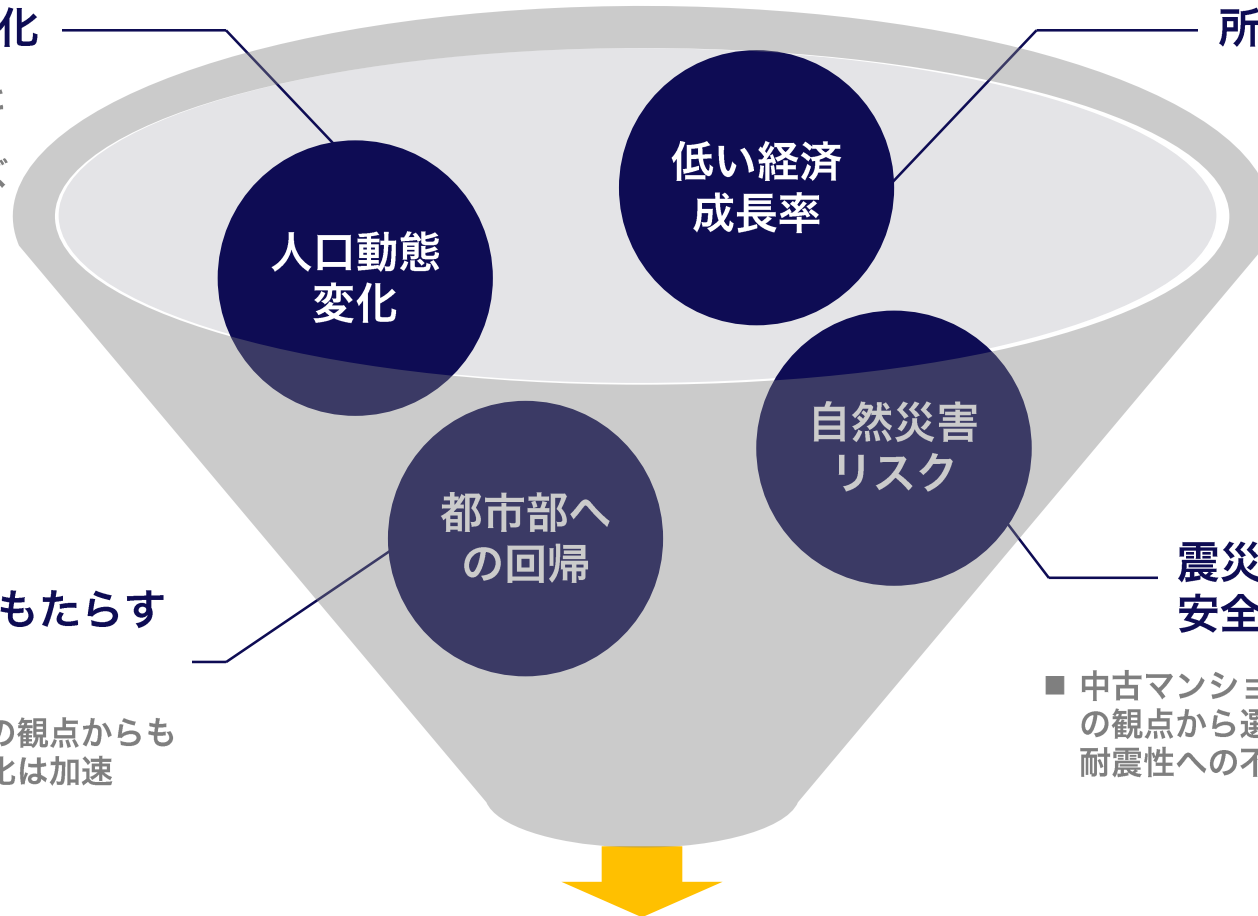
- 首都圏および地方主要都市でリノベーションマンションの流通を促進し、日本社会が直面する課題を解決
- これからの時代に必要とされる「スター・マイカグループ」を目指す

人口減少・高齢化

- 一方で世帯数は依然として増加しており、都市部での住宅ニーズは低減しない

所得水準変わらず

- 新築マンション価格高騰により、「住宅を欲しくても買えない」状況は都市部を中心に続く可能性



世帯構成変化がもたらす職住近接ニーズ

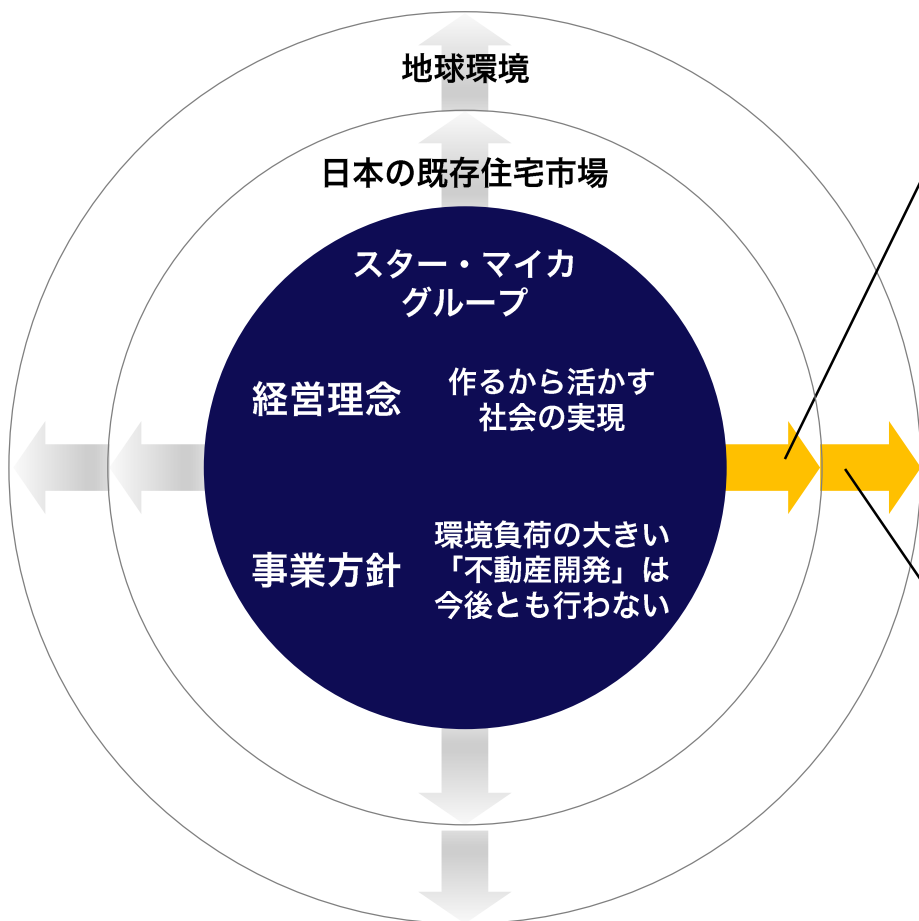
- 社会インフラ維持の観点からもコンパクトシティ化は加速

震災以降高まる安全安心欲求

- 中古マンションは経済合理性、利便性の観点から選択されつつある一方、耐震性への不安も存在

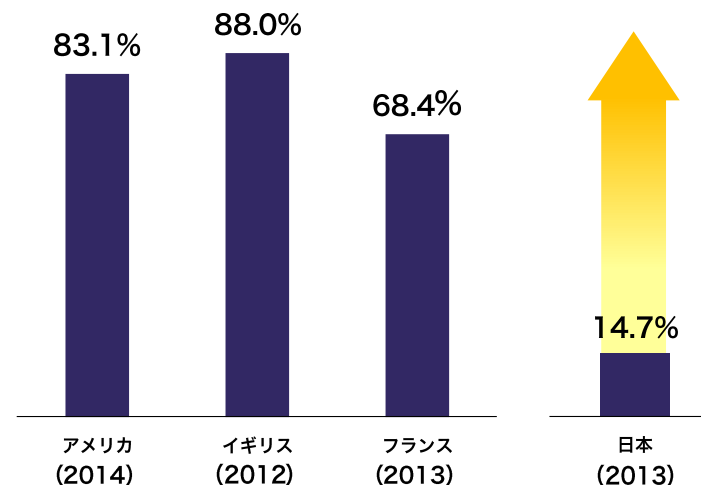
安全安心と利便性を手に入る価格で提供する、スター・マイカのリノベーションマンション

環境負荷低減、循環型社会の実現を促すビジネスモデル



既存住宅流通の活性化に貢献

欧米では住宅流通市場の7～9割が「中古住宅」（日本は1割）



(出所) 国土交通省公表「平成26年度 住宅経済関連データ」より当社作成

既存住宅流通が促進されることで環境負荷は低減される

リノベーション工事のCO2排出量は、建替工事の約3%



(出所) (一社)リノベーション協議会 ホームページ「リノベーションとは？」より当社作成

1. 財務情報
2. 事業計画
3. 事業内容
4. コミットメント (ESG)
- 5. 株主還元**
6. 会社概要

－ 今後は収益性および資産効率性のより一層の向上に注力

2018/11期

2019/11期以降の方針

ROE^{*1}

13.2%

ROEの維持・向上

収益性

売上高
利益率^{*2}

7.1%

商品力の一層向上による付加価値増加
に加え、販管費削減にも注力

資産効率性

総資産
回転率^{*3}

0.48回

購入～販売までの事業期間の短縮化

安全性

レバレッジ
比率^{*4}

3.9倍

レバレッジ上限（5倍）に留意した、
有利子負債を中心とした資金調達

*1 自己資本利益率（ROE）= 当期純利益 ÷ 期中平均自己資本

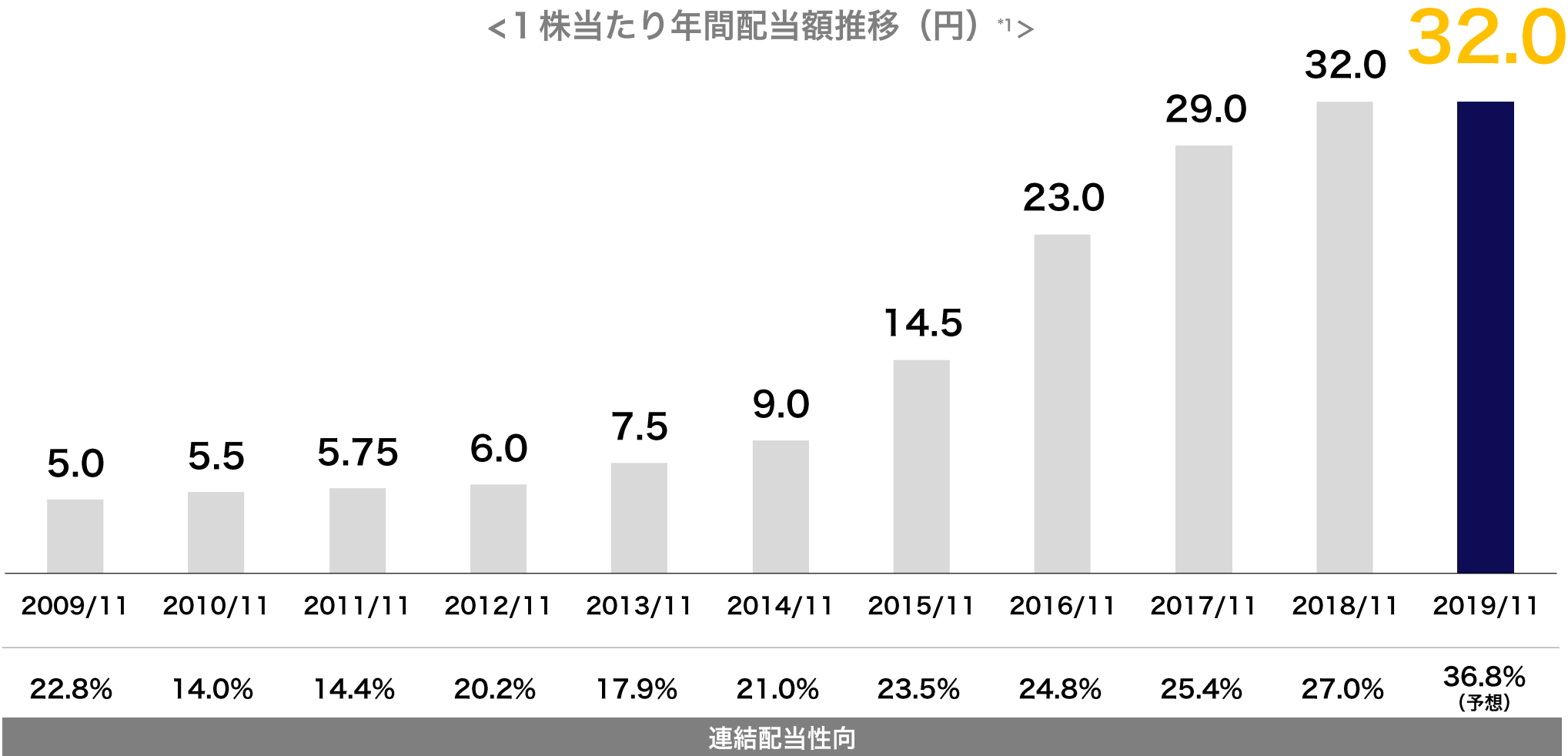
*2 売上高利益率= 当期純利益 ÷ 売上高

*3 総資産回転率= 売上高 ÷ 総資産

*4 レバレッジ比率= 総資産 ÷ 期中平均自己資本

- 2019/11期は、株主の皆様への利益還元を重視し、配当額を維持
- 配当に加え、年1回の株主優待（クオ・カード1,000円分）を実施予定

<1株当たり年間配当額推移（円）*1>



*1 株式分割（2012年12月1日付：1株→100株、2017年10月1日付：1株→2株）実施のため、過年度の数値も株式分割後の数値にて表示

- 8,000名を超える個人株主が、安定株主として当社株式を保有
- 海外投資家比率約20%、グローバルに認知される当社グループのビジネス

総発行株式数
18,228,712株

(うち自己株式56株)

株主数
8,447名

海外投資家
20.8%

- JP MORGAN CHASE BANK 380646・・・2.0%
- 三井住友信託（英国）スモールキャップファンド・・・2.0%
- THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042・・・1.8%
- MSIP クライアント セキュリティーズ・・・1.7%

国内
個人投資家
24.3%

※個人株主：8,269名

国内
機関投資家等
28.4%

- 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)（信託口）・・・13.1%
- 日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）・・・6.2%
- 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)（信託口9）・・・3.1%

代表者関連
26.5%

- 水永 政志・・・26.5%（直接・間接保有計）

*1 主要株主のみ表示 / 2019年5月31日時点（持株会社体制移行前）のスター・マイカ株式会社の株主情報となります

1. 財務情報
2. 事業計画
3. 事業内容
4. コミットメント (ESG)
5. 株主還元
- 6. 会社概要**

会社名	スター・マイカ・ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 水永 政志
設立	1998年7月24日
事業内容	リノベマンション事業、インベストメント事業及びアドバイザリー事業を展開するグループ全体の経営戦略、経営管理等
上場	2019年6月1日
市場	東証一部市場（証券コード 2975）
株主資本*2	180億円
グループ会社	スター・マイカ株式会社、スター・マイカ・レジデンス株式会社、スター・マイカ・アセット・パートナーズ株式会社、スター・マイカ・プロパティ株式会社、スター・マイカ・アセットマネジメント株式会社、SMAiT株式会社
事業所	本社（東京都港区）、仙台支店（仙台市青葉区）、さいたま支店（さいたま市浦和区）、横浜支店（横浜市神奈川区）、大阪支店（大阪市北区）、福岡支店（福岡市中央区）、札幌営業所（札幌市北区）、名古屋営業所（名古屋市中区）
主要取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、あおぞら銀行、みずほ銀行、りそな銀行他
監査法人	有限責任 あずさ監査法人
役職員	142名

*1 特段の注記がない限り、当社グループ全体の情報となります

*2 2019年5月31日時点（持株会社体制移行前）のスター・マイカ株式会社の情報となります

スター・マイカ・ホールディングス株式会社



STARMICA HOLDINGS

部署 : 経営企画部

電話 : 03-5776-2785

E-mail : ir.group@starmica.co.jp

URL : <https://www.starmica-holdings.co.jp/>

- 本資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- 決算短信による決算発表は、適時開示の要請に基づき行なわれるものであり、決算短信の公表時点では監査報告書は未受領となっております。
- 本資料に記載されたデータには、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行なわれますようお願いいたします。